

地域と大学を結ぶ広報誌



城西

Vol. 21
2017.6

ニュース

平成29年度入学式

常にチャレンジャー 「身の程知らず」を 実践して

 城西大学
 城西短期大学

橋本博英展／「機能別消防団員」辞令交付式／本学初の女性応援団長
水田三喜男記念館・新薬学部棟 竣工式

目次

- 02 [ニュース] 常にチャレンジャー 「身の程知らず」を実践して 平成29年度入学式
- 03 [ニュース] 学位記授与式／卒業報告会／スポーツ団体・優秀選手表彰式
- 04 [ニュース] 水田三喜男記念館・新薬学部棟竣工式 奈良澤由美教授が学士院賞を受賞
- 05 [ニュース]【展覧会】 「機能別消防団員」辞令交付式 増田さん 本学初の女性応援団長、橋本博英展
- 06 [ニュース] 浅野昂志さん 学生優秀発表賞を受賞 ズイン駐日大使ら 本学施設を視察 会計調査委員会 新理事・新監事
- 07 [シリーズ] 先輩訪問 麵屋武蔵代表取締役社長 矢都木二郎さん
- 08 [シリーズ] 学生互版ワイド 学内外で活躍する城西人たち
- 10 [図書館だより]
- 11 [エリア紹介] 越生町 越生まつり 絢爛豪華な山車の共演 坂戸市 坂戸夏祭りばやし(坂戸八坂神社夏祭り) 東武線沿線情報 東武東上線沿線を日帰りハイキングで楽しもう

題字：創立者 水田三喜男 先生

今号の表紙 キャンパスの桜が祝福する4月4日、平成29年度の入学式が挙行されました。希望に胸を膨らませた新入生や保護者たちは、桜の回廊を通過して、総合体育館に集い、各教室に分かれました。2187人がこの日、城西生としての第一歩を踏み出しました。



ニュース

常にチャレンジャー 「身の程知らず」を実践して

入学式 2017.4.4

若さの特権を生かして 充実した学生生活を

—— 白幡晶学長

咲き出した桜が祝福する中、平成29年度の入学式が2017年4月4日、総合体育館で執り行われました。大学院、学部、別科、短期大学、健康市民大学合わせて2187人が城西の仲間入りをしました。

白幡晶学長は告辞の中で、米アップル社の共同設立者の一人であったスティーブ・ジョブズ氏の数奇な人生を紹介。ジョブズ氏に学ぶべき点として、①手加減せずに躊躇なく学ぶ②学ぶことを通してさらに感性に磨きをかける③人生をかけてもいいと思うほど好きなことを見つける努力をする——の3点を挙げ、「常にチャレンジャーであり続け、簡単なことから『身の程知らず』を実践してほしい」と新入生を激励しました。



宣誓する水島慧人さん



宣誓する阿部萌香さん

また、小野元之理事長代理は祝辞で「人生は一度きりであり、若い時、学生時代も一度きり。勉学やスポーツ、サークル活動、友達づくりなど若さの特権を生かして、思いっきり取り組んでほしい。後悔のない充実した学生生活を、この坂戸の地で、そして紀尾井町のキャンパスで送ってください」と呼びかけました。

石川清坂戸市長(安齊敏雄教育長代読)や在日ミャンマー大使館のダウ・キン・ニラー・ソウ公使らの来賓あいさつに続いて、新入生代表が宣誓しました。理学部化学科の水島慧人さんは「今までとは違う環境の中で、私たちは幅広い知識を身につけ、それぞれ大きな夢に向かい、自ら新しいことに挑戦していきます」と述べ、また短期大学ビジネス総合学科の阿部萌香さんは「建学の精神を遵守し、これからの2年間という限られた時間の中で勉学に励み、社会に貢献できる大人に成長したいと思います」と誓いました。



告辞を述べる白幡晶学長

学位記授与式

2017.3.17

培った誠実な感性は かけがえのない指標 —— 白幡晶学長



平成28年度の学位記授与式(並びに卒業証書授与式、修了証書授与式)が2017年3月17日、総合体育館で執り行われました。この日、大学を巣立った卒業生は1760人で、卒業生総数は8万2316人となりました。式典では学位記や証書が授与された=写真=ほか、学業やスポーツに特に顕著な業績を上げた学生たちが、理事長特別表彰を受けました。

告辞で白幡晶学長は「皆さんが在学中に培った柔軟で誠実な感性は、皆さんが担うこれからの社会にとって、かけがえのない指標になります。皆さんが自らの感性に従って判断し、挑戦することによって、皆さんが関わるコミュニティーや日本を、これまでにない素晴らしい世界に変貌させることを期待しています」と、はなむけの言葉を贈りました。

また祝辞で小野元之理事長代理は、昨年亡くなったノートルダム清心女子大学の学長だった渡辺和子さんの言葉「置かれた場所で咲きなさい」を紹介。「完全に満足できる社会や職場環境はなかなか望めません。そのような社会や会社であっても、自分の持ち場をしっかりと守り、コツコツと努力して頑張っていけば、必ず明るい日が差す時が来ます」と強調しました。

これに対し卒業生代表の小口功さん(経営学部)が「城西大学で得た知識や経験は困難を乗り越えていける糧となり、今後進むべき道を示してくれることと信じ、一步一步、歩んでいきます」と答辞。原口美咲さん(短期大学)も「建学の精神を胸に刻み、これから立つ新しい舞台で一生懸命努力をし、社会に貢献していきたいと思います」と述べました。

理事長特別表彰者は次の通り。(敬称略)

ニュース

スポーツ優秀団体・優秀選手表彰式 2017.3.17

5団体と28人が表彰

平成28年度のスポーツ優秀団体・優秀選手表彰式が2017年3月17日、清光会館で開かれました。昨年度は5団体と28人が表彰を受けました=写真。あいさつで白幡晶学長は「皆さんの活躍が大学の大きな力になっています。これからもますますスポーツを通して盛り上がるような大学にしていきたい」と述べました。表彰を受けた団体と選手は次の通り。(敬称略、学年は3月現在)

【団体】女子駅伝部(関東インカレや日本インカレなどでの上位入賞や駅伝大会への連続出場など)▽陸上競技部(1600mリレーでの関東インカレと日本インカレでの4位入賞)▽男子ソフトボール部(埼玉県では初となる全日本選手権への出場など)▽女子ソフトボール部(全日本大学選手権への14年連続出場と全日本総合選手権への出場など)▽サッカー部(埼玉県1部リーグ3

【学業賞】三輪千紘(経済学部)▽成田祐真(現代政策学部)▽中島理沙(経営学部)▽小林瑞希(理学部)▽田口雄也(薬学部)▽鈴木智貴(短期大学)【スポーツ賞】佐藤拳太郎(経営学部・陸上競技部=リオ五輪1600mリレー代表)

卒業報告会

「笑顔でこの日を迎えることができました」

父母後援会共済事業学費補助受給者・東日本大震災支援金受給者

卒業式に先立ち、父母後援会からの学費補助を受けた卒業生6人と三菱商事の財団による東日本大震災の支援奨学金を受けた9人の卒業報告会が清光会館で開かれました。報告会には、卒業生のほか小野元之理事長代理、白幡晶学長、山岸弘明父母後援会長らが出席しました。

小野理事長代理はあいさつで「今までの苦労を生かしながら、これからの人生を真っ直ぐ堂々と進んで行っていただきたい」と述べました。父母後援会の学費補助を受けた延寿寺恭子さん(薬学部)は、大学2年の時に父親を病気で亡くしました。延寿寺さんは「一度は大学をやめることも考えましたが、父のためにもう一度頑張ることを決めました。担任や研究室の先生方、支え合える良き仲間にも恵まれ、笑顔でこの日を迎えることができました。成長した姿を父に見せることは叶いませんでしたが、病院薬剤師として患者さんの力になりたいと思います」と抱負を語りました=写真。



また、大震災で宮城県石巻市の自宅が流され、高校の2年間は仮設住宅で生活したという佐藤亘さん(経済学部)は「入学後に奨学金を知り、充実した学生生活を終え、卒業することができました。4月からはベンチャー企業に勤めます。城西大学からまた新入社員を採りたいと思っていただけるような、社会人になれるよう努力していきたい」と決意を述べました。

連覇など)

【個人】見目雅哉(経営学部4年)、小泉龍仁(同)、藤田昇司(同)、竹脇大貴(現代政策学部4年)、足達凌太郎(同3年)=以上、硬式野球部▽福居紗希(現代政策学部3年)、上田未奈(経済学部2年)=以上、女子駅伝部▽中島公平(経営学部2年)、金子元気(同)=以上、男子駅伝部▽佐藤拳太郎(経営学部4年)、堀井浩介(同)、鍛冶木峻(同3年)、渡部佳朗(同2年)、中条龍(同)、川越広弥(同1年)=以上、陸上競技部▽岡本直也(経済学部4年)、大野利寛(経営学部4年)、佐川隆哉(同)、岡崎智樹(現代政策学部4年)、池田昭一郎(同)、宮原廉(同3年)=以上、男子ソフトボール部▽榎本千波(経営学部4年)、早坂遙華(同)、蟹沢夏帆(同)、=以上、女子ソフトボール部▽中野真悟(経営学部4年)、星野尚希(同)、平井寛大(同1年)=以上、サッカー部▽吉田悠太(現代政策学部4年)=ラグビー部



ニュース

竣工式 2017.3.28

水田三喜男記念館・新薬学部棟 竣工式

約400人が参加し完成を祝う

創立50周年記念事業として建設を進めてきた水田三喜男記念館と新薬学部棟が完成。2017年3月28日、竣工式を執り行いました。竣工式には近隣自治体の首長や議長、設計監理、施工会社関係者、地域の方々、教職員、学生ら約400人が参加、完成を祝いました。

創立者の名前を冠した水田三喜男記念館は、城西の森、の麓に位置し、優雅なアーチを描く屋根は丘の地形をなぞるような形となっています。地上2階建て約1800平方メートル。ファウンダーズルームでは日本の戦後史とともに歩んできた創立者・水田三喜男の生涯と大学の歴史を、勲一等旭日大綬章や各国からの勲章、執務机、大礼服など約100点のゆかりの品々や写真、映像で再現しています。新薬学部棟は地上9階地下1階の約1万2000平方メートル。キャンパス南東端に位置し、キャンパスの目印、ゲートウェイとしても機能します。

この日は神事後、水田三喜男記念館の前でテープカットが行われました。施主である小野元之理事長代理はいさつで「城西大学の新しい

スタートを切るのにふさわしい素晴らしい天気の下、水田三喜男記念館と新しい城西大学のシンボルとなるような薬学部棟の竣工を迎えることが出来ました。この記念館で創立者の業績を偲び、その功績を称えてまいりたい」と述べました。テープカットの後、参加者による内覧に移りました。

直会で白幡学長は「(この二つの)美しい建物をつかって学生主体の教育を実現すること、地域社会に貢献することに全学挙げて取り組んでいく所存です」と述べて、乾杯の音頭を取りました。



テープカットする小野理事長代理や白幡学長ら



ファウンダーズルームを内覧する参加者



新薬学部棟実習室を内覧する参加者

学士院賞

奈良澤由美教授が学士院賞を受賞

仏南部の教会祭壇類型を体系化

現代政策学部の奈良澤由美教授が、今年度の日本学士院賞を受賞しました。

日本学士院賞は、学術上特に優れた論文、著書その他の研究業績に対して贈られています。

奈良澤教授は1989年、東京大学文学部を卒業。1992年、東京大学人文科学研究科修士課程修了。さらに2008年、フランスのエクスマルセイユ大学人文科学研究科博士課程を修了しました。東京大学助手などを

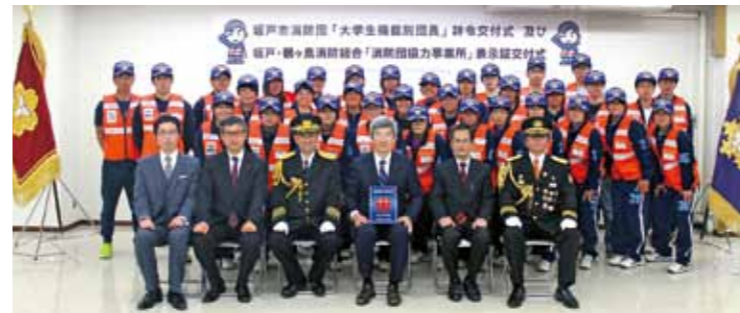


を経て、2016年5月から8月まで現代政策学部客員教授、同8月から准教授を務め、今年4月から教授に昇格しました。専門分野は美術史、考古学で、今回の受賞はフランス南部の教会祭壇の類型を体系化したことが評価されました。

研究対象となった教会祭壇は454点。約200カ所について現地へ行き、形態、素材、規格、装飾、意匠について詳細な調査を行いました。その成果について「祭壇はキリスト教の典礼に欠かせないものだが、美術の面では地味な対象であり、これまで研究が手薄だった。奈良澤氏の研究は、失われていく文化遺産を記録する国際的な取り組みとしても重要である」と評価を受けました。奈良澤教授は「私の研究を土台にして、さらにいろんな研究者が研究を進めてほしい」と話しています。

「機能別消防団員」辞令交付式 2017.5.1

「誠実に大学生らしく職務を遂行します」と宣誓



女子ソフトボール部員を中心に経営学部の学生ら33人が、坂戸市消防団の「機能別消防団員」となり、5月1日に辞令交付式が行われました=写真①。機能別消防団員とは、地震などの大規模災害時に避難誘導など消防団の補完的な役割を担う任務に限定して活動する団員のことで、大学生を対象とした機能別消防団員は県内初の試みです。

学生たちは、災害時に坂戸市が設置する避難所の設営や運営などを支援して救援物資などの配布に当たり、平時には火災予防や消防団のPR活動をするほか、出初め式や防災訓練などの消防団行事に参加します。

各自治体の消防団は高齢化などによって全国的に団員が減少傾向にあります。坂戸市でも担い手不足になっていました。このため、市消防団では市内にある本学や女子栄養大学、明海大学に機能別消防団員への参加を呼び掛けていました。

坂戸・鶴ヶ島消防組合本部で行われた辞令交付式ではお揃いのベストにキャップ姿の3大学合わせて40人を代表して女子ソフト

ボール部主将の寺岡優花さん(経営学部4年)が「誠実に大学生らしく職務を遂行します」と宣誓しました。



宣誓をする寺岡優花さん

応援団団長代行就任 2017.2

増田さん 本学初の女性応援団長、

本学の全学応援団の団長代行に増田裕美さん(経営学部3年)が就任しました。増田さんは入学以来、応援団の紅一点として活動してきました。2月下旬に、さいたま市のさいたまスーパーアリーナを中心に開催

された自転車総合イベント「埼玉サイクルエキスポ2017」での応援が、本学初の女性団長のお披露目となりました。当日はチアリーダー部(河島奈美主将=理学部3年)がダイナミックな演舞を披露した後、増田さんがイベントにエールを送り、家族連れら多くの来場者から拍手を受けました。

増田さんは「初の演舞が、さいたまスーパーアリーナで、しかも温かい拍手をいただき光栄でした。今後も選手の力になれるような応援を精いっぱい頑張っていきたい」と語り、河島さんも「これからも元気、勇気、笑顔をしっかり届けられるよう精進していきたい」と笑顔で話しました。



サイクルイベントでエールを送る増田裕美さん

展覧会

橋本博英展 2017.5.2まで/5.9~6.17

画風の模索から確立までの 36点を展示

長く法人の専務理事を務めた洋画家の橋本博英氏(1933~2000)の展覧会が前後期に分けて開催されました=写真。

橋本氏は、東京芸術大学で油絵を学んだ後、グループ展や個展などで作品を発表して注目を浴び、具象画家として地位を築きました。その一方で2度のフランス留学を通して西洋の伝統的な絵画も学びました。帰国後、身近な日本の自然風景から心揺さぶる空間を描き出すことに自らの絵画世界を求め、近代日本風景画において一つの境地を示しました。

今回の展覧会では、学校法人が所蔵・管理する作品と個人所蔵の作品合わせて36点を前期(5月2日まで)と後期(5月9日~6月17日)に分けて展示。前期では60年代から80年代の作品によって画風模索から確立していくまでの過程を、後期では画風が確立され、より洗練されていく90年代から晩年の作品を紹介しました。



ニュース

学生優秀発表賞 2017.3

浅野昂志さん 学生優秀発表賞を受賞

「脳虚血再灌流ラットにおける
フェルラ酸誘導体FAD012の脳保護効果」

3月に長崎県で開かれた第90回日本薬理学会年会で、薬学研究科博士課程4年、浅野昂志さんが学生優秀発表賞を受賞しました=写真。



本賞は、将来の薬理学を担う若手研究者の育成を目的とした若手研究者キャリア形成支援プログラムにおける「学生セッション80演題」の中から、優秀な発表に贈られたものです。浅野さんは「脳虚血再灌流ラットにおけるフェルラ酸誘導体FAD012の脳保護効果」の題目で口頭発表を行いました。浅野さんは「ご指導いただいた岡崎真理教授、坂本武史教授をはじめ多くの先生方、研究室のメンバーのおかげで本賞をいただくことができました。今後も日々精進していきたいです」と話しています。

浅野さんは、昨年11月に石川県で開催された第19回日本補完代替医療学会学術集會では、大会長賞を受賞。対象となった研究は、本学医薬品化学講座(坂本教授)と薬品作用学講座(岡崎教授)が共同研究として推進しているもので、新たな脳梗塞治療薬の開発にチャレンジしているということです。

会計調査委員会 2017.4.21

外部専門家4氏が徹底的に調査

学校法人は4月21日、前理事長時代の金銭の出入りについて洗い直す外部委員による「会計調査委員会」を設置しました。昨年11月30日の理事会で前理事長が退任。その後、総勘定元帳、支払伝票、各種電子データをもとに内部調査したところ、数多くの用途や支払根拠が不明瞭な支出が見つかりました。このため、外部の専門家の意見を基に徹底的に解明していく必要があるとして、設置が決まったものです。

委員に決まったのは弁護士青木二郎(調査委員長)、弁護士の藤田昇三、公認会計士の梶間栄一、公認会計士の岡部雅人の4氏。

委員会は、平成23(2011)年に判明した、元理事長秘書による横領事件についても、刑事事件としては不起訴になっているものの

不分明な点が極めて多いとして、この調査委員会での調査をお願いしました。



第1回の会合。左から梶間、藤田、青木、岡部の4委員

ミャンマー大使視察 2017.5.11

ズイン駐日大使ら 本学体育施設を視察

「ここで練習できれば、よい結果が出せる」

2020年の東京五輪・パラリンピックで鶴ヶ島市はミャンマーの「ホストタウン」登録を目指していますが、5月11日、トゥレイン・タンズイン駐日大使や藤縄善朗市長らが本学の体育施設を視察しました。



温水プールを視察するズイン大使(右から2人目)

ホストタウンは、大会参加国・地域と登録市町村の交流を支援する国の事業で、登録されると事前合宿や交流事業などを行う際に国から費用補助を受けられます。この日は、ズイン大使らが鶴ヶ島市役所を訪問。藤縄市長に続き、白幡晶学長が「市と大学は、長い間協力し合ってまいりました。これを機会に大学も全面的にホストタウンとして鶴ヶ島がミャンマーと良い関係を築くことに協力させていただきます」と歓迎の言葉を述べました。

その後、本学の総合グラウンドや温水プール、柔道場を見て回りました。ズイン大使は「ここで練習できれば、よい結果が出せるでしょう。日本とミャンマーとの交流が深まれば」と語りました。同市とミャンマーは、同国からの留学生を支援している「今泉記念ビルマ奨学会」が市内にあるなどの縁で交流を続けています。本学では今年度、4人の同国からの留学生が学んでいます。

新理事・新監事 2017.4.1

新理事に吉本、宮崎氏
新監事には山口、西村氏

学校法人の理事に4月1日付で新たに元国立大学法人東北大学総長の吉本高志氏と元東京高等裁判所総括判事の宮崎公男氏が就任されました。城西国際大学の柳澤伯夫学長と石田益実副学長の退任に伴うものです。

吉本氏は、東北大学教授(脳神経外科学)などを経て東北大学総長、独立行政法人大学入試センター理事長などを歴任されました。宮崎氏は、東京地裁所長代行(東京簡裁担当)や徳島地裁所長、京都家裁所長を経て東京高裁部総括判事をお務めになりました。

また、新しい監事には公認会計士・税理士の山口善久氏と元総務事務次官の西村正紀氏が就任されました。山口氏は、公認会計士協会学校法人委員会委員長も歴任。西村氏は、総務事務次官の後、会計検査院長もお務めになりました。

シリーズ

先輩訪問

各界で活躍する卒業生を紹介する「先輩訪問」。今回は東京都内で人気のラーメン店「麵屋武蔵」の代表取締役社長、矢都木二郎さん(40)を東京・新宿の本社に訪ねました。

主体性を持って
人生を歩んでほしい

麵屋武蔵 代表取締役社長 矢都木 二郎さん (1998年 経済学部卒)



—どんな学生でしたか。

「単位も3年までに取って勉強もそこそこやりましたが、なんといってもサークル中心の学生生活でした。練習が終わった後、みんなでメシ食って、下宿暮らしの仲間のところに行って、麻雀をしたり、ゲームをしたり。大学生活は、人生の夏休み、だと思っているのですが、今振り返ってみて、楽しく、本当に素晴らしい時間でしたね」

—いったん一般企業に入って、それからラーメン業界に入られた。

「学生のころ、坂戸駅前にある『丸長』さんのつけ麺にはまって、年間100杯くらい食べていました。午前11時の開店前に寄ってから大学に行く。そのため2限は遅刻OKの授業を取っていたほどです(笑)。ラーメン屋を開きたいという夢はありましたが、やはりスーツを着て仕事をしたいとも思い、食品包装資材の会社に入りました。営業職でしたが、やはりなにか違う、もっと稼ぎたいとの思いが強くなり、一大決心をしてこの業界に入りました。創業間もなく、当時すでに大人気だった麵屋武蔵を選んだのは、味に惚れ込んだというよりは、将来独立した後の店舗展開のノウハウを学びたいと思ったからです」

—転機となったのは。

「3年目で上野店の店長をやらせてもらい、そこで自分の好きなようにやらせてもらったことです。麵屋武蔵は現場に任せる主義が徹底していて、お店の個性が出せるように、味も含め店長にすべてを任せています。私も店長をやって会社の中で自分のやりたいことを具現化していければ、独立はしなくても良いと考えるようになりました」

—2013年に2代目の社長に就任されました。麵屋武蔵の売りはなんですか。

「私たちの理念は『個を敬い、繋を旨とする』です。人それぞれが個性を生かし、そして皆で連携、協力してそれぞれが自己実現をしていく。私たちは各店で味を変えています。店の個性

を最大限生かしていることが、スタッフのモチベーションを高め、ひいてはお客様に喜んでいただく。言い換えれば、私たちは、ラーメンを通じてお客様体験を売っているんです。モノではなく食事の「事(コト)」を売るのが、大事だと思います。『革新的で上質』というブランドイメージを一人でも多くの人に抱いていただき、NO.1ブランドになることが夢です。それが、外食産業のイメージアップにもつながれると思います。また、イメージアップと並行して労働時間や報酬など就労体制を改善し、働き手にとって魅力がある産業にしていきたいですね」

—好きな言葉はありますか。

「『念ずれば花開く』という言葉が好きです。過去と他人は変えられないが、自分と未来は変えられる。思い通りにならないのは、物事を途中でやめるか諦めてしまっているからです。諦めない限り、そこは夢を叶える途中なわけですし、必ず突破口が見えてくると思います」

—後輩へのメッセージをいただけますか。

「他人や環境のせいせず、すべての責任は自分自身にあると、主体性を持って人生を歩んでほしいです。人生はあなたの思い通りになります」

■株式会社麵屋武蔵

1996年5月創業のラーメン専門店。東京・新宿の総本店をはじめ、渋谷、池袋、秋葉原、神田、高田馬場など都内で14店舗を展開。ライセンス契約の香港、シンガポール、ウクライナ、ハワイなど海外27店舗も。国内店ではジャズが流れ、期間限定麺の発売やさまざまな企業とのコラボ・メニューなど話題を提供。矢都木社長の初の著書『麵屋武蔵 ビジネス五輪書』(学研プラス)が3月に刊行された=写真。正社員98人、アルバイト45人。本社は〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-2-6K-1ビル1階。TEL:03-3360-9634。



シリーズ

学生瓦版

城西大学広報委員会のメンバーが学内外で活躍する団体、個人を紹介する学生瓦版。今回もワイド版でお送りします。

テニスコートで会いましょう!

テニスサークルスマッシュ

大学サークルの花形といったらテニスサークルかもしれない。城西大学テニスサークルは部員数32人で男子が9割を占めているが、今年度から女子が数人参加。仲良く和気あいあい、切磋琢磨し合いながら活動している。

活動は週2回、火曜日と日曜日に2~4時間テニスの練習に励んでいる。テニスサークルと聞くと、「飲みサー」のようなチャラけたイメージを持つ人もいるだろう。しかし、このサークルでは初心者にもテニスを教えたり一般大会で入賞を目指している人もいたり、そうしたイメージとは違い感じた。誰でも参加できる雰囲気なので、経験者はもちろん、初心者も大歓迎。「気軽に声をかけてほしい」とのことだ。公式Twitterもある。シャイで



じかに声をかけるのが苦手な人は、そちらから話してみてもいいだろう。「それではテニスコートで会いましょう!」。

取材:編集局一同

もっと創始者のことを知ってほしい

水田三喜男記念館

水田三喜男記念館は、創立者の功績を顕彰し50周年を迎えた大学の歴史を振り返るために建てられた。また21号館(新薬学部棟)やJUカフェも50周年記念事業として建てられたも

のだ。記念館には、講堂と会議室が3部屋あるので、授業やサークルの集まり、そして委員会活動でも使うことができる。総務課で手続きをすれば、利用することができる。見どころは展示室(ファウンダーズルーム)で、日本の戦後史とともに歩んできた創立者の生涯と大学の歴史を、ゆかりの品々や写真や映像などで紹介している。担当の方は「もっと創始者のことを知ってほしい」と来場を呼び掛けている。営業時間は火曜日から金曜日は9時から17時まで、土曜日と月曜日は10時から16時までとなっている。時間があつたらぜひ足を運んでみてはどうだろうか。

取材:渉外局一同



水田三喜男記念館

※広報委員会ではニュース・話題を募集しています
jukoho1@gmail.com

女子学生のキャリア向上に役立てたい

経営学部女子学生サークルJMW
会長 瀬戸千嘉子さん(経営学部3年)

経営学部女子学生サークルJMW(チェリー)は経営学部設立と同時に発足した。現在では7人が所属している。毎週金曜日午後3時から経営学部棟である17号館に集まって活動をしている。

メイン行事は毎年4月に、新入の女子学生を対象に開いている交流会。この交流会のおかげで、多くの人たちと仲良くなれたと、新入生からは好評だ。ほかにも、オープンキャンパスでの手伝いをサークル活動の一環として積極的に行っている。

会長の瀬戸千嘉子さん(経営学部3年)は「女子学生の力強さを出していき、キャリア向上に役立てたい」と話している。これからもJMWに期待したい。

取材:財務局一同



右から3人目が代表の瀬戸千嘉子さん

仲間と一緒に頑張ることによって継続できる

英語サークル「Orange」
代表 小沼大祐さん(経営学部3年)

英語サークル「Orange」のメンバーは2年2人、3年6人の計8人。先生の協力で得て週3回、TOEIC対応の勉強や英会話を学んでいる。

代表者の小沼大祐さん(経営学部3年)は「アメリカ留学を終えて引き続き英語を勉強したいと思い、大学になかった英語サークルを立ち上げた」と振り返る。「とにかく英語の勉強がで

きる環境が欲しかった」と言う。

サークルの名前の由来は、オレンジ栽培が盛んだった留学先(リバーサイド)にちなみ、自分たちのサークルも栄えてほしいとの思いを込めたという。

「仲間と一緒に頑張ることによってモチベーションが上がり、継続することができる」と、小沼さんはサークルの魅力語る。

来年の2月までにTOEICのスコアを全員600点にすることが目標だ。英語を本気で勉強したい人、英語に興味がある人は、Orangeの門をたたいてみてはどうだろうか。

取材:放送局一同



右から3人目が代表の小沼大祐さん

図書館だより



©2017株式会社読書人 ©2017植田瑞美

書評誌に本学学生の書評が掲載されました

「週刊読書人」の「書評キャンパス」大学生がススめる本コーナー(2017年4月21日号、5月12日号)に、薬学部薬科学科4年植田瑞美さんの書評が掲載されました。記事は図書館1Fカウンター前に掲示中です=写真。「週刊読書人」本誌

も1F新聞コーナーに所蔵しています。また「週刊読書人ウェブ」(<http://dokushohojin.com>)でもご覧いただけます。今後も本学学生の書評が掲載されますのでぜひ一読ください。



自身も自分の可能性をひろげてほしい」との訓示をいただきました。委嘱状を受け取ったメンバー9名は、気持ちも新たに学生の学習支援活動に励んでいます=写真。

図書館学生アドバイザー委嘱式を行いました

4月18日、2017年度の学生アドバイザー委嘱式を行いました。関俊暢館長より「ピアサポート、の場=相互に教えあう場、である図書館で仕事をするので、アドバイザー

城西大学機関リポジトリJURA、登録数5000件を突破

JURAとは、本学所属研究者の紀要論文や学術雑誌掲載論文、学会発表等の研究成果物や学位論文(博士)をはじめとして、本学開催の各種公開講座や広報資料にいたるまで幅広く収集し「いつでも、どこでも、どなたでも」ご覧いただ

けるようにインターネット上に構築した電子的な保存書庫です。2010年2月より運用を開始し、このほど登録件数が5000件を突破しました。今後も本学の「知と情報」を集積し提供して参ります。どうぞご利用ください。

URL http://libir.josai.ac.jp/il/meta_pub/G0000284repository

城西大学機関リポジトリ JURA

大学HP(上)と図書館HP(下)の各リンクボタン

JURA城西大学機関リポジトリ

本とのきっかけづくり(教員おすすめ図書と学生選書)

専門書から小説まで「学生に読んで欲しい」本を集めた「教員おすすめ図書」コーナーに、今年も新たなおすすめが加わりました。これまで紹介した図書と合わせて123冊を展示しています。紹介図書をまとめた小冊子「教員おすすめ図書2017」も作成しました=写真。一度足を止めて本を手にとってみてください。思いがけない読書体験がそこに待っています。

また、4月10日から22日にかけて学生が学習や研究に必要な図書を手に取って選書する学生選書2017Part.1を行い、32人の学生が参加して73冊を選書しました。アンケートでは「普段目向けない本と出会う良い機会を得た」「さまざまな本を見てみてタイトルから興味を惹かれるということに気付くことができた」などの意見をいただきました。ご参加ありがとうございました。



エリア紹介

越生町

越生まつり 絢爛豪華な山車の競演

越生町の夏の風物詩である「越生まつり」が、今年も7月22日(土)と23日(日)の2日間に開催されます。越生まつりの主役は、絢爛豪華な6台の山車。笛、太鼓、鉦のリズムに合わせ、天狐、ひよっこなどの面を付けた踊り手が軽やかに舞います。日が沈むと提灯に明かりが灯り、幻想的な山車に様変わります。最大の見どころは「曳っかわせ」。曳き回され

る山車同士が出会うとお囃子の競演が始まります。祭りのクライマックス「6台の山車揃い」は必見=写真。勇壮なお囃子と夜空を彩る花火で最高潮に盛り上げりを魅せます。

- 7月22日(土): 17~21時=山車曳き回し
- 7月23日(日): 13~17時=神輿渡御、よさこいなど 17~21時=山車曳き回し 19時50分ごろ=6台の山車揃い、打ち上げ花火



坂戸市

坂戸夏祭りばやし (坂戸八坂神社夏祭り)

坂戸市指定無形民俗文化財「坂戸夏祭りばやし(坂戸八坂神社夏祭り)」が7月15日(土)、16日(日)に坂戸中心市街地(日の出町、本町、仲町、元町地内)で行われます。

江戸時代に始まったといわれるこの夏祭りは、旧暦6月に大神輿の渡御を中心に行われていたようでしたが、大正時代には山車の曳行が加わって7月に行われるようになり、昭和初年に大神輿と山車がそろった現在のような夏祭りの原型が整いました。昭和52年以降は、7月15日に近い土・日曜日が祭日となりました。坂戸市文化会館前では夕方、山車の曳き合わせ

が行われます=写真。坂戸市ならではの歴史と文化のイベントをお楽しみください。

- 7月15日(土): 午後2時~ 午後8時30分
- 7月16日(日): 午後1時~ 午後8時30分

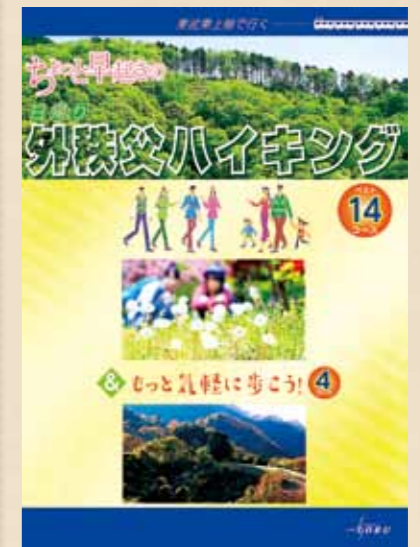


東武線沿線情報

東武東上線沿線を 日帰りハイキングで楽しもう

四季折々の風景を楽しみながら山登り。360度のパノラマに心奪われる尾根歩きと、心身ともに健康にしてくれるハイキング。朝、目が覚めて、天候を確認してからでも出かけることができるのが特徴で、初心者からベテランまで、脚力に合わせたコース選びができます。また、沿線の町並みを気軽に歩き、観光地やグルメ等をご堪能いただける町並みハイキングコースもご用意いたしました。

休日には東上線沿線で日帰りハイキングを楽しんでみませんか。パンフレット=写真=は東上線各駅にて配布しております。



編集/学校法人城西大学 広報センター
発行/城西大学 総務部総務課
〒350-0295
埼玉県坂戸市けやき台1-1
TEL049-271-7712
<http://www.josai.ac.jp>